



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ジモティー 上場取引所 東
 コード番号 7082 URL https://jmt.y.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 貴博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岩崎 優一 TEL 03-6303-9258
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,015	8.5	292	91.0	292	91.9	245	89.4
2019年12月期第3四半期	935	—	153	—	152	—	129	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	44.76	40.74
2019年12月期第3四半期	25.67	—

- (注) 1. 当社は、2018年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 2019年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	1,567	1,387	88.5
2019年12月期	952	748	78.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,386百万円 2019年12月期 746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,434	13.5	306	245.0	306	309.1	212	120.6	40.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	5,996,365株	2019年12月期	5,641,365株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	172,565株	2019年12月期	416,665株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	5,483,338株	2019年12月期3Q	5,047,777株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定期的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。このところ持ち直しの動きがみられております。先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されています。

日本の総広告費は、持続する緩やかな景気拡大に伴い、通年で6兆9,381億円(前年比106.2%)と前年を上回り、特にインターネット広告費は2兆1,048億円(前年比119.7%)と好調に推移したことが総広告費全体を押し上げる結果となりました(株式会社電通「2019年日本の広告費」)。

このような環境下、当社はクラシファイドサイト「ジモティー」を通して、地域の情報が幅広く集まるプラットフォームを提供することで、地域の情報を可視化し、地域の人とのマッチングを推進してまいりました。

当第3四半期累計期間においても、生活動態の変化により地域内情報の必要性が増大し、当社サービスをご利用いただく機会は継続して増加しております。

一方で、市況感の悪化により広告出稿を控えていた企業様も徐々に出稿を増やしている状況ではありますが、まだ十分な水準までは改善しておらず、広告単価の下落が継続している状況となっております。

このような環境下において、持続的なプラットフォームの成長のために、地域内のモノの譲り合いをより円滑に行える場所へと進化するべく、ユーザー利便性を向上させる付加機能の提供を開始し、検証を重ねて参りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,015,336千円(前年同期比8.5%増)、営業利益は292,978千円(同91.0%増)、経常利益は292,101千円(同91.9%増)、四半期純利益は245,416千円(同89.4%増)となりました。

なお、当社はクラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,467,529千円となり、前事業年度末に比べ601,089千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が588,284千円増加、前払費用が7,588千円増加したことによるものであります。固定資産は99,495千円となり、前事業年度末に比べ13,100千円増加いたしました。これは、有形固定資産が1,100千円増加、投資その他の資産が12,000千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は1,567,025千円となり、前事業年度末に比べ614,189千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は173,618千円となり、前事業年度末に比べ24,648千円減少いたしました。これは主に、買掛金が7,901千円増加、未払法人税等が29,838千円増加、流動負債の「その他」に含めて表示されている未払消費税等が21,886千円増加した一方で、未払金が87,801千円減少したことによるものであります。固定負債は6,220千円となり、前事業年度末から変動ありません。

この結果、負債合計は179,838千円となり、前事業年度末に比べ24,648千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,387,186千円となり、前事業年度末に比べ638,838千円増加いたしました。これは主に、資本金が86,087千円増加、資本剰余金が191,969千円増加、四半期純利益計上により利益剰余金が245,416千円増加した一方で、自己株式が117,168千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は88.5%(前事業年度末は78.3%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月14日の「2019年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルスの感染拡大が当社に与える影響は現時点では見通すことが困難なため、本業績予想には織り込んでおりません。現在の当社を取り巻く環境は、緊急事態宣言による外出自粛に伴い、在宅時間が増えたことで当社サービスをご利用いただく機会は増加しておりますが、景況感の悪化に伴う広告需要の減少などの影響を受ける可能性があります。

新型コロナウイルスの感染拡大による当社に与える影響額につきましては、予想が可能となり次第、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	643,850	1,232,135
売掛金	179,950	172,992
前渡金	15,535	15,535
前払費用	17,365	24,953
その他	9,737	21,912
流動資産合計	866,439	1,467,529
固定資産		
有形固定資産	7,747	8,847
投資その他の資産	78,648	90,648
固定資産合計	86,395	99,495
資産合計	952,835	1,567,025
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,902	10,804
未払金	97,546	9,745
未払費用	38,536	40,479
未払法人税等	32,285	62,123
前受金	22,085	24,944
その他	4,909	25,521
流動負債合計	198,267	173,618
固定負債		
資産除去債務	6,220	6,220
固定負債合計	6,220	6,220
負債合計	204,487	179,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	222,569	308,657
資本剰余金	2,036,007	2,227,976
利益剰余金	△1,312,565	△1,067,148
自己株式	△199,999	△82,831
株主資本合計	746,012	1,386,654
新株予約権	2,335	532
純資産合計	748,347	1,387,186
負債純資産合計	952,835	1,567,025

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	935,892	1,015,336
売上原価	100,503	102,462
売上総利益	835,388	912,873
販売費及び一般管理費	681,998	619,895
営業利益	153,389	292,978
営業外収益		
受取利息	3	7
新株予約権戻入益	182	10
雑収入	—	580
営業外収益合計	185	598
営業外費用		
株式交付費	1,323	602
上場関連費用	—	872
営業外費用合計	1,323	1,475
経常利益	152,252	292,101
税引前四半期純利益	152,252	292,101
法人税等	22,663	46,684
四半期純利益	129,589	245,416

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月7日をもって東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場に当たり、2020年2月6日を払込期日とする公募(ブックビルディング方式による募集)による自己株式の処分50,000株により、資本剰余金が22,000千円増加し、自己株式が24,000千円減少しております。また、2020年3月11日を払込期日とする第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当)による自己株式の処分190,600株により、資本剰余金が83,864千円増加し、自己株式が91,488千円減少しております。

また、当第3四半期累計期間において、新株予約権の行使による新株発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ86,087千円増加しております。

この結果、当第3四半期累計期間における新株予約権の行使による自己株式の処分を含めて、当第3四半期会計期間末において資本金が308,657千円、資本剰余金が2,227,976千円、自己株式が82,831千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

当社は、クラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

当社は、クラシファイドサイト運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。